


令和5(2023)年度

事業計画

令和5年3月

 宇都宮商工会議所

目 次

令和 5（2023）年度宇都宮商工会議所事業計画

I 基本方針	1
II 主要事業	2

令和5(2023)年度宇都宮商工会議所事業計画

I 基本方針

政府の経済見通しでは、「コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いており、その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増している」としている。

加えて、ロシアのウクライナ侵攻の長期化により、世界情勢は激しく変動しており、原材料価格や物流価格の高騰など、今後海外景気は厳しさを増す可能性が高く、これによる外需の悪化が日本の成長率を押し下げるリスクにも注意する必要がある。

また、県内経済情勢は、「供給面での制約の影響が残るものの、持ち直しつつあり、先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される」としている。

こうした状況を踏まえ、当商工会議所では、アフターコロナを見据え、会員企業をはじめ地域企業が厳しい事業環境の変化に対応し、事業の見直しや再構築、販路拡大、生産性向上等に取り組みながら、持続的経営を展開できるよう、企業の自己変革への挑戦を支援する。

また、宇都宮商工会議所創立130周年を機に、関係機関との連携をさらに深めるとともに、地域経済の活性化、政策提言・組織・財政基盤の強化を施策の柱としながら、中小・小規模事業者の事業継続に向けた積極的な挑戦を全力で支援していく。

1 第6期中期事業計画

(1) 策定の目的

地域商工業の振興発展と社会福祉の増進を図る唯一の地域総合経済団体としての役割を認識し、社会経済環境の変化と課題を的確に捉え、地域企業の発展や地域経済の活性化を図るため、取り組むべき事業を定め、計画的かつ継続的に推進するものである。

(2) ビジョン

「地域経済の先導者としての自覚と行動」

「選ばれ続ける団体として更なる変革」

「運営から経営への発想転換」

～活動指針～

- (1) 現場主義・双方向性の徹底
- (2) 幅広いネットワーク力の活用
- (3) 情報発信力の強化

2 中期財政計画に基づく財政運営

- (1) コスト意識の醸成
- (2) 収益力の向上を工夫

II 主要事業

(_____ は重要事業)

1 企業活力の強化

地域経済の基盤である中小企業、小規模事業者に対し、個々の企業の経営課題の克服に向け、外部専門家や関係機関との連携による各種支援施策を積極的に活用し、企業の体質強化や成長を推進する。

(1) 経営発達支援

創業、販路開拓、経営革新などの事業計画の策定から実行までを伴走型で支援することで、小規模事業者の持続的発展を図る。

ア 経営発達支援事業（伴走型小規模事業者支援推進事業）（年間目標：BIZミルによる経営分析 200 件、計画策定支援 150 件、フォローアップ 150 件）

イ ICT活用支援事業（年間目標：ICT導入支援 50 者、セミナー1回、SNS活用スクール1回、IT相談件数 15 件）

ウ 事業継続力強化支援事業（年間目標：計画策定支援件数 8 件、セミナー1回、個別相談会 1 回）

エ 中小企業等新事業展開支援事業（年間目標：スクール1回（支援対象 10 者）、相談件数 16 件）

オ 中小企業等経営力再構築伴走支援事業（年間目標：伴走支援者 20 者）

(2) 経営相談支援

小規模事業者のさまざまな経営課題に対応するため、経営指導員等の情報共有化と支援能力向上を図り、企業と同じ目線で課題解決を支援する。

- ア 経営指導員等による巡回・窓口相談事業（年間目標：巡回相談 6,200 件、
窓口相談 5,200 件）
- イ 事業環境変化対応型支援（ウイズ・アフターコロナ経営相談）事業（補助金、
資金繰り個別相談会 6 回、補助金、資金繰りセミナー 2 回、インボイス制度個別
相談会 2 回、インボイス制度セミナー 3 回）
- ウ 税務指導事業〔決算代行、記帳代行、記帳継続指導等〕（年間目標：決算代行
等 205 件、記帳継続指導 185 件）
- エ クラウド会計導入・活用支援事業（年間目標：導入事業所 30 社、活用案内
185 社）
- オ 経営支援ガイド作成事業（年間目標：8,000 部、WEB 版月 1 回更新）
- カ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（年間目標：中小企業 119
専門家派遣 10 回、「とちぎ未来創造カンパニー」連絡会議開催 1 回）
- キ 経営技術強化支援事業（エキスパート・バンク）（年間目標：専門家派遣 69 件）
- ク 宇都宮商工会議所振興委員（共同巡回 1 回）
- ケ 制度改正に伴う専門家派遣事業〔講習会・相談会、専門家派遣等〕
- コ 各種相談事業〔納税相談、税務相談、知的財産権相談、法律相談、不動産鑑
定相談〕（年間目標：納税相談 15 件、税務相談 5 件、知的財産権相談 30 件、法
律相談 25 件、不動産鑑定相談 2 件）
- サ 小規模企業共済制度加入促進事業（年間目標：加入 40 件、増額 30 件）

(3) 金融支援

国、県、市、県信用保証協会の融資・保証制度を普及し、中小企業・小規模事業者の資金調達を支援する。

- ア 小規模事業者経営改善資金（マル経）融資制度事業（年間目標：推薦 50 件、
事後指導 100 件、他支援機関の制度の斡旋 50 件）
- イ 商工いきいき特別保証制度事業（年間目標：推薦書交付 10 件）

(4) 創業支援

創業スクールの開催や各種支援施策を活用して、創業希望者及び創業間もない事業者を支援し、創業者輩出と経営の持続的発展を図る。

- ア 創業支援事業（年間目標：伴走支援者数 30 人、開業者数 8 人）

(5) 企業再生支援

過剰債務等により経営状況が悪化している中小企業に対し、専門家による事業再生、倒産回避または円滑な事業清算手続き等を、また後継者不在等の中小企業に対し、円滑な事業承継を支援する。

- ア 中小企業再生支援事業（栃木県中小企業活性化協議会事業）
- イ 経営改善計画策定支援事業（ ” ）
- ウ 栃木県事業承継・引継ぎ支援事業
- エ 経営セーフティ共済制度加入促進事業（年間目標：加入 15 件）

(6) 福利厚生・リスク対策の促進

各種共済制度の加入を推進し、安定した制度として会員企業の福利厚生に資するとともに、自然災害や新型コロナウイルス感染等の予期せぬ事態に備えての事業継続計画（BCP）策定など、事業者のリスク対策を支援する。

- ア 各種共済・保険制度事業
 - (ア) ふれあい共済（年間目標：ふれあい共済加入事業所数 1,425 件、保有口数 5,450 口、新規獲得 65 件、口数 637 口）
 - (イ) 総合保険、年払保険等（年間目標：ベストウイズクラブキャンペーン目標保険料達成）
 - (ウ) 大型共済、個人年金等
- イ 事業継続計画（BCP）策定支援事業（年間目標：セミナー開催、専門家派遣）
- ウ 損害保険加入促進事業〔保険料収納事務、制度普及・照会・斡旋〕（年間目標：業務災害プラン 510 件 ビジネス総合保険 438 件）
- エ 特定退職金共済制度の運営（年間目標：加入事業所総数 330 件）
- オ ふれあい共済福祉・還元事業（年間目標：健康診断等 680 人、1 日人間ドック 50 人、日帰りバスツアー 80 人）
- カ 栃木県火災共済制度の普及（年間目標：保有件数 175 件）
- キ 健康経営推進事業（年間目標：セミナー開催、情報提供、優良法人認定制度申請等）

(7) 人材確保・育成

関係機関と連携を図りながら、若者、女性、高齢者、障がい者、外国人等が自己の能力を生かし、生活環境に合った職場で快適に就業でき、活躍しやすい環境整備を促進し、中小企業の人材確保・育成を支援する。

- ア 障がい者・高齢者の雇用促進事業（年間目標：セミナー4回）
- イ 働き方改革支援事業（年間目標：セミナー受講者数 20 人、個別相談会相談者数 5 人）
- ウ 女性の活躍促進支援事業（年間目標：セミナー受講者数 20 人以上）
- エ 各種検定試験（年間目標：受験者数 4,500 人）
- オ 市内大学と中小企業のマッチング支援事業（年間目標：講義の実施 4 回、市内大学との連携事業 1 回）
- カ 外国人雇用促進支援事業（建設業向け）（年間目標：セミナー1回、セミナー受講者 25 人）
- キ オンライン採用活動支援事業（建設業向け）（年間目標：セミナー1回、セミナー受講者 25 人）
- ク 人材採用育成定着支援事業（建設業向け）【新規】（年間目標：セミナー1回、セミナー受講者 25 人）
- ケ 宇都宮珠算連盟の支援
- コ 新入社員講習会事業（年間目標：受講者 30 人）
- サ 3級簿記講座事業（年間目標：受講者 30 人）
- シ 栃木県内商工会議所経営指導員等研修事業（年間目標：研修日数 5 日）
- ス 優良従業員表彰（年間目標：事業所数 50 件、従業員数 250 人）
- セ オンライン研修事業（年間目標：受講者 16 人）

(8) 情報化支援

ICTを活用した取り組み事例の提供や企業内情報化ネットワーク構築など、企業の情報化推進を支援する。

- ア スマート CCI 推進事業（基幹システムの入替）
- イ ICT活用支援事業（再掲）（年間目標：ICT 導入支援 50 者、セミナー1回、SNS 活用スクール 1 回、IT 相談件数 15 件）
- ウ AI・IoT等活用支援事業【新規】（年間目標：AI・IoT 等の活用に関する調査 1 回）
- エ 日経テレコン活用促進事業（支援体制強化情報ネットワーク推進整備事業）

(9) 環境・福祉・CSRの推進

環境への負荷の少ない循環型社会の構築に向けた企業経営の普及と認証取得を推

進する。

- ア S D G s 推進事業（年間目標：個別相談、専門家派遣、普及啓発等）
- イ 事業系食品ロス削減対策モデル事業（年間目標：モデル事業の実施（小売業））
- ウ エコアクション21（年間目標：新規件数3件、更新審査34件）
- エ E C O うつのみや21（年間目標：審査認定件数33件）
- オ 容器包装リサイクル受託事業
- カ 汚染負荷量賦課金申告・納付業務受託事業（年間目標：期限内申告・納付）

2 地域経済の活性化

中心市街地活性化や商店街活動への支援、インバウンドを含めた観光振興や地域ブランドを活用した広域連携等を支援する。また、消費の拡大と地域商業の振興を図るとともに、産学官連携・農商工連携による、新しいものづくりを通して、地域産業のイノベーションを推進する。さらには、若者、女性、障がい者、高齢者、外国人など、企業の労働力確保を支援し、企業活力の向上を図る。

(1) 地域産業支援

中心商店街の集客力向上と賑わい創出、商店街活動を支援し、消費の拡大と地域商業の振興を図るとともに、3工業団地（宇都宮工業団地・清原工業団地・瑞穂野工業団地）の役員との意見交換・交流を図りながら、地域産業を支援する。

- ア 中心商業地新規出店促進事業（年間目標：新規認定件数20件）
- イ 宮の市（商業祭）支援事業（目標：来場者数16万人）
- ウ 宇都宮市商店街連盟支援事業（年間目標：研修会・説明会・勉強会等6回、新規事業の企画立案・事業実施1件）
- エ 得する街のゼミナール“まちゼミ”事業（年間目標：参加店38店舗、講座数50講座、参加人数750人）
- オ 工業団地役員との連携交流事業（年間目標：交流会2回）
- カ 商店街次世代リーダー育成事業（年間目標：研修会4回）
- キ 産業経営改善支援事業
- ク 来街者実態調査（隔年実施）
- ケ 中心市街地イベント支援事業
- コ オリオン七夕まつりへの支援事業
- サ 地域実態調査

- シ 宇都宮市中心市街地活性化協議会への参画
- ス 宇都宮市おもてなし推進委員会への参画
- セ 消費喚起支援事業
- ソ 宇都宮地域商業振興協議会支援事業

(2) 観光振興とブランド力の強化

広域からの集客を促進する観光交流事業に取り組み、歴史・文化・スポーツなどの地域の観光資源のブランド力強化に努め、集客交流を促進する。

- ア プロスポーツチームの支援事業（年間目標：広報支援3回、交流イベント1回）
- イ ミヤ・ジャズイン実行委員会支援事業（年間目標：来場者数3,000人）
- ウ 観光イベント支援事業〔フェスタ in 大谷、宇都宮餃子祭り等目標イベント数7件〕
- エ ふるさと宮まつりへの支援事業
- オ 大谷地区観光促進支援事業（年間目標：関係機関と連携・支援）

(3) ものづくり・販路拡大の支援

地域の農産物、人材、技術等を有効に結び付け、農商工連携による新しいものづくりを支援し、地域ブランド「宇都宮雷都物語」商品の販促活動、ものづくり体験や新商品の開発等、地域産業の活性化を支援する。

- ア 農商工連携推進事業〔うつのみやアグリネットワーク事業等〕（年間目標：新規プロジェクト採択5件）
- イ 販路開拓支援事業【新規】〔「宮の商談会」等〕（年間目標：宮の商談会 参加企業数20社、商談件数20件、成約件数2件）（年間目標：feel NIPPON BtoB サイト掲載事業者数20社、商談件数5社、フォローアップ数10社）
- ウ AI・IoT等活用支援事業【新規】（再掲）（年間目標：AI・IoT等の活用に関する調査1回）
- エ 新名産品開発事業〔宇都宮雷都物語〕
- オ ザ・ビジネスモール（年間目標：新規登録企業26社）
- カ 宇都宮イノベーションコンソーシアムへの参画
- キ ザ・商談！し・ご・と発掘市
- ク 食品業界交流会事業
- ケ 異業種交流事業〔みやみらい21、宇都宮創遊倶楽部〕
- コ 貿易関係証明等発給事業

サ おもてなしギフトモール事業

シ 工業団地役員との連携交流事業（再掲）（年間目標：交流会 2 回）

(4) ひとづくり支援の推進

企業活力の強化や地域経済の活性化を推進するため、その基盤となる経営者等の育成を支援する。

ア 青年部事業の支援（年間目標：新規会員の加入促進 40 件）

イ 女性部事業の支援（年間目標：目標会員数 70 件）

(5) 雇用の促進支援

栃木労働局等関係機関や学校等との連携を図り、若者・女性・高齢者・障がい者・外国人等が自己の能力を生かしながら継続就業できる職場環境づくりへの支援等を行い、中小・小規模事業者の人材不足改善に努める。また、各種制度改正に対応し、事業者の働きやすい職場づくりを支援する。

ア 障がい者・高齢者の雇用促進事業（再掲）（年間目標：セミナー4 回）

イ 働き方改革支援事業（再掲）（年間目標：セミナー受講者数 20 人、個別相談会相談者数 5 人）

ウ 女性の活躍促進支援事業（再掲）（年間目標：セミナー受講者数 20 人以上）

エ 市内大学と中小企業のマッチング支援事業（再掲）（年間目標：講義カリキュラムの実施 4 回、市内大学との連携事業 2 回）

オ 外国人雇用促進支援事業（建設業向け）（再掲）（年間目標：セミナー1 回、セミナー受講者 25 人）

カ オンライン採用活動支援事業（建設業向け）（再掲）（年間目標：セミナー2 回、セミナー受講者 25 人）

キ 人材採用育成定着支援事業（建設業向け）【新規】（再掲）（年間目標：セミナー1 回、セミナー受講者 25 人）

ク 労働保険事務指導事業〔労働保険事務組合等〕（年間目標：委託事業所 330 社、事業場 520 事業場、雇用保険被保険者 1,500 人台維持）

3 政策提言・組織・財政基盤の強化

国・県・市等の政策に会員や地域からの意見・要望を幅広く反映させるため、地域経済の先導者として、積極的な政策提言活動を実施する。また、事業運営の安定を図るため、会員サービスの充実と組織内部の生産性向上を図り、会員拡大・財政

基盤の強化につなげる。

(1) 政策提言の強化

当所の存在価値、政策提言力を高めるために、組織基盤をなす一般会員を増やし、一般会員組織率を高める取り組み強化を図る。

ア 政策提言事業〔国・県・市への建議・要望〕

イ 部会・委員会事業

(2) 組織・財政基盤の強化

当所が有する財産（人材、信頼力、公共性、企業力、多様性、ネットワーク力等）を最大限に有効活用し、さまざまなニーズに応えられるよう事務局体制の強化を図る。

ア 創立130周年記念事業【新規】（記念式典、記念誌、会員大会、特設サイト等）

イ 役員・議員活動の充実

ウ 部会・委員会活動の充実

エ 会員管理・加入促進事業（年間目標：一般会員件数 6,174 件以上、一般会員組織率 31.6%以上、会員巡回 800 件）

オ 広報広聴事業（プル型（ホームページ））（年間目標：15.5 万アクセス）

カ 広報広聴事業（プッシュ型（メールマガジン））（年間目標：メールアドレス収集率 5 割）

キ 広報広聴事業（会報の発行（天地人））

ク 職員能力強化事業〔経営指導員等スキルアップ、コンサルティング能力向上〕

ケ スマート CCI 推進事業（再掲）（基幹システムの入替）

コ SDGs 推進事業（再掲）（年間目標：個別相談、専門家派遣、普及啓発等）

(3) 会員サービスの強化

会員ニーズに応じたサービス事業の充実に努める。

ア サイバーセキュリティお助け隊サービス事業【新規】（年間目標：3 社）

イ オンライン研修事業（再掲）（年間目標：受講者 16 人）

ウ 優良従業員表彰（再掲）（年間目標：事業所数 50 件、従業員数 250 人）

エ 会員企業チラシ・カタログ等展示コーナー（年間目標：事業所 75 件、延べ利用 180 件）

(4) 広報広聴活動の充実

会員企業へのコミュニケーションツールとして、会報並びにホームページの充実、及び各種調査結果の発信と有効活用を図る。

ア 広報広聴事業（プル型（ホームページ））（再掲）年間目標：15.5万アクセス

イ 広報広聴事業（プッシュ型（メールマガジン））（再掲）（年間目標：メールアドレス収集率5割）

ウ 広報広聴事業（会報の発行（天地人））（再掲）

エ 設備等の管理・保守

オ データマップ（統計でみる宇都宮）発行事業

カ 中小企業景況調査事業（年間目標：回収率100%）

キ 商工会議所早期景気観測（LOBO）調査事業（年間目標：回収率100%）

ク 貴重資料の保存管理